

■ 株主メモ

証券コード	7716
事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
株主確定基準日	定時株主総会 12月31日 期末配当金 12月31日 中間配当金 6月30日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 0120-782-031(フリーダイヤル)
公告方法	当社ホームページに掲載します。ただし、やむを得ない事由によって電子公告することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ スタンダード
お知らせ	<ul style="list-style-type: none">● 住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設された株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。● 未払配当金の支払いについて 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。● 「配当金計算書」について 配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料として使用いただくことができます。確定申告をされる株主様は大切に保管ください。 ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

NSK BUSINESS REPORT

CREATE IT.

第66期決算期
2017年1月1日～2017年12月31日
株式会社ナカニシ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2017年度は、昨年引き続き好調な需要に支えられ、売上高、当期純利益は過去最高を更新することができました。

昨年4月に竣工した最新鋭の研究開発拠点である新本社R&Dセンターに続き、本年3月、中核生産拠点となる新工場(通称「A1」)が竣工しました。中期戦略を遂行する上で不可欠となる事業基盤の強化は着実に進展しており、当社の開発および生産活動の質・量・スピードは飛躍的に向上していくものと確信しております。

当社は2018年を「新たな発展の始まりの年」と位置づけ、引き続きお客様に喜びと感動を与える革新的な製品の開発、高品質を支える製造技術の向上、お客様から信頼される販売ネットワークとアフターサービスの充実を推し進め、グローバルリーディングカンパニーとして更なる飛躍を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも当社の成長にご期待頂くとともに、引き続きご支援を賜ります様お願い申し上げます。

代表取締役社長執行役員
中西 英一



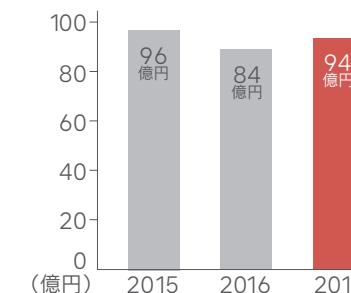
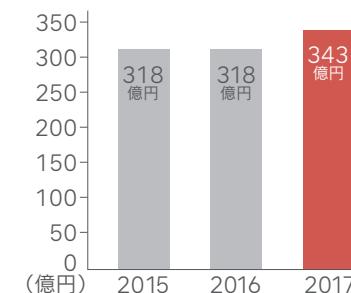

歯科製品関連、工業製品関連ともに増収となり、 売上高および当期純利益は過去最高となりました。

2017年度の事業概況と業績について

当期は歯科製品関連事業、工業製品関連事業ともに堅調に推移し、売上高は前期比7.9%増の343億円、営業利益は前期比11.9%増の94億円、当期純利益は前期比38.6%増の73億円となりました。

歯科製品関連事業では国内、北米およびアジアの各地域

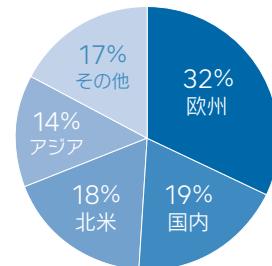
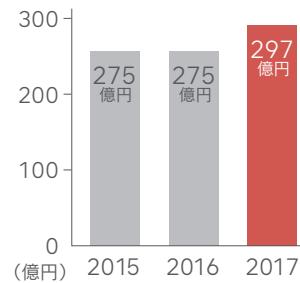
の売上高が10%以上伸び、売上高は前期比7.8%増の297億円となりました。工業製品関連事業では、北米が減収となったものの、国内およびアジアが伸長し、売上高は前期比6.3%増の33億円となりました。また、主要通貨に対して円安が進行したことによる押し上げ効果もあり、当期純利益は過去最高を更新しました。



歯科製品関連事業の概況について

主力のハンドピース、インプラント、予防歯科関連製品および訪問歯科診療製品の拡販と世界的なブランディング、アフターサービスの強化を推し進めた結果、当期の歯科製品関連事業の業績は堅調に推移しました。地域別の概況は次の通りです。

- [欧州]** 競合との競争が激化する中、高い製品評価とブランディングの効果により、欧州各国の販売は順調に推移しましたが、事業再編を進めているイタリア子会社が減収となったため、欧州の売上高は前年比3.2%の増収にとどまりました。
- [国内]** 院内感染予防および訪問歯科診療による需要増加を着実に取り込みました。OEMビジネスも堅調に推移したことで、国内の売上高は前年比10.2%の増収となりました。
- [北米]** 競合他社の攻勢が強まる中、北米子会社による自社ブランド製品の拡販に注力した結果、北米の売上高は前期比10.0%の増収となりました。
- [アジア]** 東南アジア各国が低調となったものの、代理店網整備の効果が表れた中国や韓国の販売が伸びたことで、アジアの売上高は前年比14.2%の増収となりました。
- [その他]** 中東地域が減収となったものの、ロシアの販売が回復したほか、オセアニアでも10%以上の増収となったことで、その他地域の売上高は前期比7.1%の増収となりました。

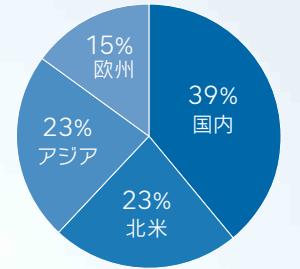


歯科製品関連事業
2017年度
地域別売上高比率

工業製品関連事業の概況について

2017年度の工業製品関連の売上高は、北米市場の販売が鈍化したものの、欧州、国内およびアジアが堅調に推移したことで、前期比6.3%増の33億円となりました。

当社が得意とする小径の高速スピンドルは、高い精度とスピードが要求されるため、追従する企業が少なく、顧客であるメーカーの生産現場から多くの引き合いを頂いております。2018年はJIMTOF(国内最大級の工作機械見本市)への出展や成長性の高いアジア地域の市場開拓の強化等を通じて、更なる事業成長を目指してまいります。



工業製品関連事業
2017年度
地域別売上高比率

2018年度の業績予想について

2018年度の業績予想は、前期比3.7%の増収を見込んでおります。営業利益につきましては新工場関連の費用増があるものの、増収および新工場稼働による利益率改善効果によって、前期比1.0%の増益を見込んでおります。当期純利益は、2017年度に計上していた為替差益の剥落等により、前期比5.9%の減益と見込んでおります。

なお、2018年度の想定為替レートは、1USD=105円、1ユーロ=120円を前提としております。

2018年度 業績予想

売上高	営業利益	親会社株主に 帰属する当期純利益
356億円	95億円	69億円
前期比 3.7%増	前期比 1.0%増	前期比 5.9%減

想定為替レート

1USD	1ユーロ
105円	120円

新工場「A1」2018年3月竣工

本年3月、栃木県鹿沼市にある宇都宮西中核工業団地内に建設していた新工場「A1」が竣工しました。

延床面積は14,000平方メートルと、当社として過去最大規模の生産拠点となります。新工場では、これまで複数の建物に分散していた多数の工程を1つの棟内に集約。ムダやロスのない最適化された生産ラインを構築することで、より一層の生産効率化を追求しました。また、管理厚生棟には社員食堂のほかオープンテラスを配置し、鹿沼の美しい自然環境を感じられる空間を演出するなど、従業員が働きやすい環境の構築にも努めました。

新工場「A1」は、高速回転技術や超音波技術を支える精密部品の約85%を内製する重要な生産拠点であり、早期且つ着実な生産開始を目指して、現在、鋭意対応を進めています。



A1外観

北米における積極的なマーケティング活動を継続・新製品上市

当社の歯科製品関連事業におけるブランド「NSK」をグローバルNo.1ブランドへグレードアップさせるべくマーケティング活動を積極的に推進しています。

「格調高い洗練されたデザイン」「絶対的な高い品質」「高いコスト競争力」「強固なグローバル販売網」「ファーストクラスの顧客サービス」など、グローバルNo.1にふさわしい体制を構築すべく、全社を挙げて取り組み続けています。当社の優れた製品を手にとって体験していただくとともに、新たなブランド戦略を展開すべく世界中の展示会に出展し、世界各国の歯科医師、代理店およびディーラーの方々に対して積極的にアプローチしています。

特に北米市場では、地域最大規模の展示会に大規模ブースを出展するなど、NSKブランドのイメージアップとファン作りに向けたマーケティング活動を活発化させた結果、ブランド認知度は着実に向上してきております。また、エアタービンから電気モーターへの需要シフトに対応した新製品「NLZ」を上市したことで、更なる販売伸長を目指してまいります。



ニューヨーク展示会



新製品「NLZ」

第1回ナカニシライジングイベントを開催

昨年10月に新本社R&Dセンター「RD1」において、第1回ナカニシライジングイベントを開催しました。ライジングイベントは、「従業員が文化的な素養を身につけ」かつ「地域住民の方々にも同様に文化的イベントにご招待する」ことで、当社と地域社会と一緒に「ライジング=上昇し続ける」ことを目的としています。今回は、重要無形文化財総合認定保持者である能楽師の大倉正之助氏をお招きし、従業員やそのご家族、地域住民の方々、約500名とともに、大鼓による能楽演奏会を堪能しました。

当社は、今後も定期的にナカニシライジングイベントを開催してまいります。



第29回栃木県マロニエ建築優良賞を受賞

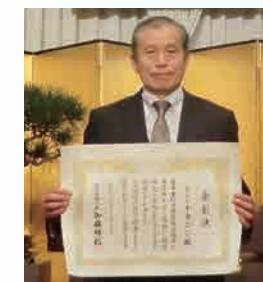
新本社R&Dセンター「RD1」が、栃木県が主催する第29回栃木県マロニエ建築優良賞を受賞しました。今回の受賞は、RD1の外観デザインや機能面だけでなく、深岩山や大芦川など周囲の自然環境を建築に活かす工夫が高く評価されました。

当社は、革新的かつ高品質の製品をスピーディーに上市するための研究開発拠点として建設したRD1を、イノベーションを起こす「知的創造の聖地」として中長期的な成長戦略を実現するための基盤として活用してまいります。



平成29年度職業能力開発関係厚生労働大臣表彰を受賞

当社は、平成29年度職業能力開発関係厚生労働大臣表彰を受賞しました。15年にわたり、実技試験会場の提供のほか、技能検定委員の派遣、自社従業員に対する受検勧奨等、多岐にわたる協力姿勢が高く評価されました。



経済産業省の「地域未来牽引企業」に選定

当社は、経済産業省の「地域未来牽引企業」に選定されました。

地域未来牽引企業には、地域経済のバリューチェーンの中心的な担い手としての活躍が期待されています。当社は引き続き、革新的な製品を開発し、国内外に向けて積極的に販売することで、持続的な成長の実現と地域経済の好循環の形成を目指してまいります。



株式分割の実施について

当社は、2018年4月1日をもって当社普通株式1株につき3株に分割することといたしました。投資単位当たりの金額を引き下げ、より一層投資しやすい環境を整えることで、当社株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としております。

配当について

2017年度実績

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題のひとつと認識し、業界動向および事業展開に備えた内部留保を勘案したうえで、安定的に配当を継続することを基本方針としております。

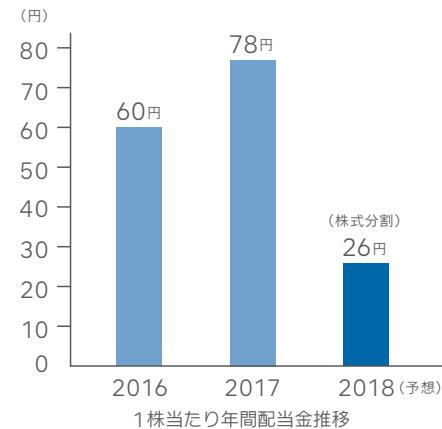
2017年度の期末配当につきましては、通期業績が当初予想を上回ったため、当初予想の1株当たり32円から46円といたしました。既にお支払しております中間配当金32円と合わせて、年間配当は78円となり、前年度に比べて18円の増配となりました。

2018年度予想

2018年度につきましても連結配当性向30%の基本方針を維持し、中間配当、期末配当ともに13円、年間配当は26円と予想しています。なお、右記配当予想は、2018年4月1日に実施予定の株式分割を考慮した金額を記載しております。

分割比率 1 : 3	
分割基準日	効力発生日
2018年3月31日	2018年4月1日

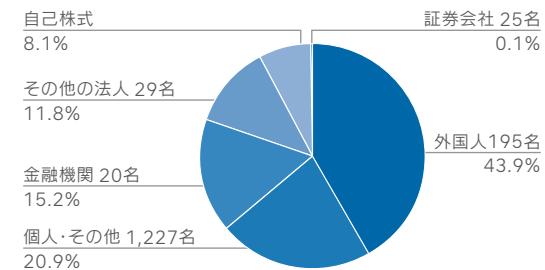
1株当たり年間配当金の推移



株式の状況 (2017年12月31日現在)

- 発行可能株式総数 125,000,000株
- 発行済株式の総数 31,419,800株
- 株主数 1,497名

株式分布状況



会社概要 (2017年12月31日現在)

社名 株式会社ナカニシ
 設立 1951年2月
 代表取締役社長執行役員 中西英一
 資本金 867,948,542円
 従業員数 1,014名(連結)
 本事業所 栃木県鹿沼市下日向700番地
 本社・工場 東京事務所 大阪事務所

- 主要関係会社
 NSK-America Corp.(アメリカ)
 NSK Europe GmbH(ドイツ)
 NSK France S.A.S.(フランス)
 NSK United Kingdom Ltd.(イギリス)
 NSK Nakanishi Dental Spain S.A.(スペイン)
 NSK Oceania Pty. Ltd.(オーストラリア)
 NSK Shanghai Co.,Ltd.(中国)
 Dental X S.p.A(イタリア)
 NSK Dental Korea Co.,Ltd.(韓国)
- 主要取引銀行
 足利銀行、みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行

大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
ステート ストリート バンクアンドトラスト カンパニー	1,773千株	6.1%
ナカニシE&N株式会社	1,510千株	5.2%
中西崇介	1,430千株	5.0%
中西千代	1,430千株	5.0%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,182千株	4.1%
ザ チェース マンハッタン バンク 385036	1,148千株	4.0%
株式会社オフィスナカニシ	1,040千株	3.6%
ジエービー モルガン チェース バンク 385632	939千株	3.3%
中西英一	938千株	3.2%
中西賢介	935千株	3.2%

(注) 1. 当社は、自己株式を2,544,190株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

役員	代表取締役社長執行役員	中西英一
代表取締役副社長執行役員	中西賢介	
取締役常務執行役員	松岡 薫	
取締役 役	野長瀬 裕二	
取締役 役	鈴木 布佐人	
常勤監査役	豊玉 英樹	
監査役	染宮 守二	
監査役	澤田 雄二	

(注) 1. 取締役 野長瀬裕二及び鈴木布佐人は社外取締役です。
 2. 監査役 豊玉英樹、染宮守、澤田雄二は社外監査役です。